

四半期報告書

(第62期第3四半期)
自 平成25年3月21日
至 平成25年6月20日

マルサンアイ株式会社

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの分析】	3
第3 【提出会社の状況】	6
1 【株式等の状況】	6
2 【役員の状況】	7
第4 【経理の状況】	8
1 【四半期連結財務諸表】	9
2 【その他】	15
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	16

四半期レビュー報告書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年7月30日

【四半期会計期間】 第62期第3四半期(自 平成25年3月21日 至 平成25年6月20日)

【会社名】 マルサンアイ株式会社

【英訳名】 MARUSAN-AI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長 青木春雄
代表取締役社長 伊藤明徳

【本店の所在の場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【最寄りの連絡場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第3四半期 連結累計期間	第62期 第3四半期 連結累計期間	第61期
会計期間	自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日	自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日	自 平成23年9月21日 至 平成24年9月20日
売上高 (千円)	15,500,783	16,309,121	21,037,738
経常利益 (千円)	357,942	447,024	446,535
四半期(当期)純利益 (千円)	168,837	253,533	204,438
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	157,088	295,995	204,015
純資産額 (千円)	2,841,354	3,114,144	2,888,281
総資産額 (千円)	15,443,508	16,463,194	15,918,361
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	14.71	22.09	17.81
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	18.3	18.8	18.0

回次	第61期 第3四半期 連結会計期間	第62期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年3月21日 至 平成24年6月20日	自 平成25年3月21日 至 平成25年6月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.73	6.93

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれてありません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成24年9月21日～平成25年6月20日）におけるわが国経済は、政権交代に伴う景気政策への期待から円安、株高の回復がみられたものの、欧州の財政危機、新興国経済の減速など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

食品業界におきましては、世界的な穀物価格の高止まりに加え、円安による輸入原材料の上昇等、内需産業にとって市場環境は大変厳しい状況にあります。

みそ業界におきましては、競合メーカーとの競争が激しく、販売単価の下落や出荷数量の減少傾向が続くなど、厳しい市場環境が継続しております。

豆乳業界におきましては、テレビ、雑誌報道による健康志向の高まりを背景に、市場は引き続き堅調に推移しております。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、163億9百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は、3億15百万円（前年同期比5.8%減）、経常利益は、4億47百万円（前年同期比24.9%増）、四半期純利益は、2億53百万円（前年同期比50.2%増）となりました。

みそ事業

みそ事業全体が伸び悩んだため、売上高は、42億22百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

a.生みそ

みそ市場全体が漸減傾向にある中、出荷数量の減少に加えて販売単価が下落したため、売上高は、31億88百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

b.調理みそ

シーズン序盤の残暑の影響により、ストレート鍋スープの販売の出足が悪かったため、売上高は、7億15百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

c.即席みそ

特定企業向けの製品の出荷の減少、競合他社との販売の激化により、売上高は、3億18百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

豆乳飲料事業

豆乳が堅調に推移し、売上高は、113億67百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC.につきましては、持分法による投資利益3百万円を営業外収益に計上しております。

a.豆乳

テレビ、雑誌報道による健康志向の高まりを背景に堅調に推移し、売上高は、92億70百万円（前年同期比13.4%増）となりました。

b.飲料

ミネラルウォーター、受託製造品、果汁飲料、茶系飲料の出荷が減少したため、売上高は、20億97百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

その他食品事業

シーズン序盤の残暑の影響により、ストレート鍋スープの販売の出足が悪かったため、売上高は、7億18百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

（2）財政状態の分析

資産

流動資産は、80億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、その他に含まれる未収入金の増加2億6百万円等があったものの、受取手形及び売掛金の減少2億66百万円等によるものであります。

固定資産は、84億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億17百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、設備投資による機械装置及び運搬具の増加4億76百万円、建物及び構築物の増加1億26百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、164億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億44百万円増加いたしました。

負債

流動負債は、88億99百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億53百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、その他に含まれる未払費用の増加2億97百万円等によるものであります。

固定負債は、44億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、長期借入金の増加88百万円等があったものの、退職給付引当金の減少58百万円、その他に含まれるデリバティブ債務の減少55百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、133億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億18百万円増加いたしました。

純資産

純資産合計は、31億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億25百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加1億84百万円等によるものであります。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、47百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、研究開発活動に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、前連結会計年度末には計画しておりませんでしたが、当第3四半期連結累計期間において、新たに確定した主要な設備の新設の計画は、次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定	完成後の 増加能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)				
マルサンアイ株式会社	本社・本社工場(愛知県岡崎市)	みそ事業	みそ製品工場統合に伴う追加工事	84,500		自己資金及び借入金	平成24年12月	平成25年3月	
		飲料事業	テント倉庫	57,800		自己資金及び借入金	平成25年2月	平成25年5月	

(注) 金額には消費税等を含んでおりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月20日)	提出日現在発行数(株) (平成25年7月30日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,480,880	11,480,880	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数：1,000株
計	11,480,880	11,480,880		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年3月21日～ 平成25年6月20日		11,480,880		865,444		612,520

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,457,000	11,457	同上
単元未満株式	普通株式 21,880		同上
発行済株式総数	11,480,880		
総株主の議決権		11,457	

(注) 1 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式245株が含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年6月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) マルサンアイ株式会社	愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地	2,000		2,000	0.02
計		2,000		2,000	0.02

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は、2,935株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年3月21日から平成25年6月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年9月21日から平成25年6月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,977,729	1,920,769
受取手形及び売掛金	3,358,657	3,092,628
商品及び製品	693,308	634,274
仕掛品	526,226	480,346
原材料及び貯蔵品	451,041	477,887
その他	1,130,355	1,457,724
貸倒引当金	8,955	8,362
流動資産合計	8,128,363	8,055,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,625,752	2,752,545
機械装置及び運搬具(純額)	1,775,539	2,252,167
土地	2,642,135	2,642,135
その他(純額)	96,983	79,282
有形固定資産合計	7,140,410	7,726,131
無形固定資産	83,829	89,604
投資その他の資産		
投資有価証券	441,428	465,279
その他	141,542	143,360
貸倒引当金	17,213	16,450
投資その他の資産合計	565,757	592,190
固定資産合計	7,789,998	8,407,926
資産合計	15,918,361	16,463,194

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,825,761	2,672,834
1年内返済予定の長期借入金	2,224,895	2,296,819
未払法人税等	125,797	93,646
賞与引当金	360,441	159,051
工場再編損失引当金	19,000	-
未払金	2,598,165	2,651,535
その他	391,937	1,025,538
流動負債合計	8,545,998	8,899,424
固定負債		
長期借入金	2,655,394	2,743,969
退職給付引当金	1,418,433	1,360,283
資産除去債務	194,099	196,395
その他	216,155	148,977
固定負債合計	4,484,081	4,449,624
負債合計	13,030,079	13,349,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	635,039	635,039
利益剰余金	1,479,676	1,664,334
自己株式	675	1,312
株主資本合計	2,979,484	3,163,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,418	7,013
為替換算調整勘定	101,488	79,819
その他の包括利益累計額合計	112,906	72,806
少数株主持分	21,703	23,444
純資産合計	2,888,281	3,114,144
負債純資産合計	15,918,361	16,463,194

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日)
売上高	15,500,783	16,309,121
売上原価	11,249,757	11,937,072
売上総利益	4,251,026	4,372,049
販売費及び一般管理費	3,916,457	4,056,818
営業利益	334,568	315,230
営業外収益		
受取利息	1,040	1,880
技術指導料	10,290	14,700
不動産賃貸収入	17,412	17,810
持分法による投資利益	-	3,210
デリバティブ評価益	20,310	80,107
為替差益	11,224	29,346
その他	21,850	35,740
営業外収益合計	82,128	182,797
営業外費用		
支払利息	40,712	36,260
持分法による投資損失	4,752	-
債権売却損	12,145	12,605
その他	1,143	2,138
営業外費用合計	58,753	51,004
経常利益	357,942	447,024
特別損失		
固定資産売却損	6,351	-
固定資産除却損	17,541	30,763
ゴルフ会員権評価損	1,210	-
特別損失合計	25,103	30,763
税金等調整前四半期純利益	332,839	416,260
法人税等	163,314	162,561
少数株主損益調整前四半期純利益	169,524	253,699
少数株主利益	687	165
四半期純利益	168,837	253,533

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	169,524	253,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	18,653
為替換算調整勘定	12,478	23,641
その他の包括利益合計	12,436	42,295
四半期包括利益	157,088	295,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,400	293,633
少数株主に係る四半期包括利益	687	2,361

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日)
(税金費用の計算) 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費含む）は、次のとおりあります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日)	
減価償却費	580,464千円	減価償却費	581,198千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月8日 定時株主総会	普通株式	68,882	6.00	平成23年9月20日	平成23年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月6日 定時株主総会	普通株式	68,875	6.00	平成24年9月20日	平成24年12月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,343,485	10,419,187	738,110	15,500,783	15,500,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,343,485	10,419,187	738,110	15,500,783	15,500,783
セグメント利益	592,935	2,125,114	176,870	2,894,920	2,894,920

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,894,920
全社費用(注)	2,560,351
四半期連結損益計算書の営業利益	334,568

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,222,713	11,367,954	718,453	16,309,121	16,309,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,222,713	11,367,954	718,453	16,309,121	16,309,121
セグメント利益	485,548	2,313,999	126,266	2,925,815	2,925,815

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,925,815
全社費用(注)	2,610,584
四半期連結損益計算書の営業利益	315,230

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月21日 至 平成25年6月20日)
1 株当たり四半期純利益金額	14円71銭	22円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	168,837	253,533
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	168,837	253,533
普通株式の期中平均株式数(株)	11,479,889	11,478,887

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月30日

マルサンアイ株式会社
取締役会 御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 杉 田 純

代表社員
業務執行社員 公認会計士 林 寛 尚

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマルサンアイ株式会社の平成24年9月21日から平成25年9月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年3月21日から平成25年6月20日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年9月21日から平成25年6月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マルサンアイ株式会社及び連結子会社の平成25年6月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。